

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立上湯川小学校

学級数 6

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

自分らしさを発揮し、磨き合う子～「すすんで考える子」の育成を基盤として

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

1 取組のきっかけ

昨年度の学校評価を受け、新年度準備委員会において、学校経営方針を具現化する方策を見いだすため、全教職員から意見集約をし、各分掌において活動内容を検討した。その結果、今年度は4つの観点の充実に向けて、取り組むこととした。

- ①「健やかな体と心を育てる教育の推進」
 - ②「確かな学びを育む授業改善の取組」
 - ③「地域と共に生きる子どもの育成」
 - ④「家庭と一体となった子育ての取組」
- ここでは、②確かな学びを育む授業改善の取組について紹介する。

2 取組の位置付け

教務が中心となり、学力向上の取組を進めている。

3 取組の方法

- ① 学習常規の確認と指導の徹底
- ② 指導計画の見直し
- ③「校内研究の推進」
 - ～算数科の計算力向上
 - ～T T，少人数指導の有効活用
 - ～コアアビリティ
- ④「学力テスト等の活用」
 - ～全国学力学習状況調査の結果の分析
 - ～全学年C R Tの実施と分析
 - ～チャレンジテスト，トライやるウィークの利用，参加
- ⑤外国語学習活動の推進
- ⑥総合的な学習の時間の推進
 - ～地域人材を活用
- ⑦「家庭学習の手引き」
 - ～家庭との連携のもと学習習慣の定着を図る。

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・ 学習常規の確認と指導の徹底
（成果）～全教職員で話し合い，共通理解のもと，「上湯っ子の約束」（学習常規）を発行。各学年で指導している。
- ・ 「校内研究」の推進
（成果）～指導の際に「落としてはいけない事項」～コアアビリティを洗い出し，指導計画を作成，全ての校内研究授業において実践を重ねた。（算数科）
～一人一授業を基本に，全員が授業実践を進めた。
～TT・少人数指導を年間を通じて全学年で実践している。
- ・ 学力テスト等の活用
（成果）～全国学力学習状況調査の結果を分析し，本校児童の学力の傾向と課題を明らかにし，改善策を検討した。
～全学年 CRT テストの実施と分析。
- ・ 家庭学習の充実
（成果）～「家庭学習の手引き」を全家庭に配付し，本校の家庭学習に対する考えと家庭への協力をお願いし，家庭学習の取り組みが充実してきた。

○ 教育課程検証の方法

- ・ 全員が研究授業をし，実際の子どもの学びを通して教育課程を検証する。
（目指す授業像，子ども像，具体的な手だてなど）
- ・ 指導計画に日常実践の中で明らかになった改善点などを，朱書きし，次年度の年間指導計画をよりよく作りかえる。
- ・ 学校評価で課題となったことを，新年度準備委員会で検討し，改善の方向性を探る。